

消費者教育と環境教育を組み合わせた教材で
子どもたちと一緒に考える

出張授業

ベネッセコーポレーションの助言を受け
千葉大学環境ISO学生委員会が行うエコ教室

対象：小学3年生～6年生

時間：45分×2＝90分（60分にすることも可能）

授業者：千葉大学環境ISO学生委員会の学生

費用：企画料・技術料 5,000円

当日資料料 500円（1回につき一律）

交通費（JR西千葉駅からの学生の往復交通費）

授業の活用例

- サマースクールなどのゲストティーチャーとして
- 総合の時間の教科横断的な学習の一環として



お問い合わせ

NPO法人千葉大学環境ISO学生委員会

Mail : x8e1821@chiba-u.jp

TEL : 090-3858-1904

（エコ教室事業部長 森日香）

子ども達の声

- ・いろいろなエコマークの意味を知ることができたので、これから買い物に行ったらマークを見てみたい。
- ・クイズとかお買い物を班のみんなで協力しながらできて楽しかった。
- ・総合の時間で環境のことをやっているのだから、この授業を活かしたい。

指導案 (例)

時間	学習活動	期待される児童の変化
導入 30分	<ul style="list-style-type: none"> ○お買い物診断 ・紙芝居を用いて買いたいもの(お題)を把握 ・グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をするときには様々な視点があることを知る
展開 50分	<ul style="list-style-type: none"> ○お買い物診断を振り返る ・レーダーチャートを作成し、買い物をするときの傾向を知る。 ・「環境」という視点があることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をするときに、一つの視点だけでなく、様々な視点があることに気がつく。 (値段・環境・使う相手のことを考える)
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ラベルについて知る ○商品に合う環境ラベルを環境ラベル広場から選ぶ ○実際に商品を見て、学んだ環境ラベルを探し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各環境ラベルが示す意味について知る ・いつも使っている商品にも環境ラベルが付いたものがあることを知る
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境という視点を取り入れて買い物をするためには環境ラベル以外にもポイントがあることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・フードロス、フードマイレージ、旬を取り入れた考え方について知る
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・今日のキーワードを振り返り、講義の内容を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日学んだ新しい視点を今後の自分の活動に生かそうとしている

過去の授業の様子



▲授業で使う教材「お買い物診断」(ベネッセコーポレーションの助言を受け制作したオリジナル教材です)

千葉大学環境ISO学資委員会

千葉大学において学生主体で環境活動を行っている大学公式の学生団体。千葉大学が国際規格であるISO14001の取得に動き出した2003年に発足し、それ以後、大学の環境マネジメントの運営組織の一部として活動。毎年1～3年生まで約200名が所属。2009年にNPO法人格を取得。理事長含め全員が学生。アドバイザーは倉阪秀史教授。地域での出張エコ教室や里山保全活動などを行っている。NPO法人としての活動が評価され、2015年に「第25回地球環境大賞」の文部科学大臣賞を受賞した。



ロゴマーク いそちゃん

【詳しくはこちら】 <https://kankyo-iso.chiba-u.jp/doc/EMStorikumi.pdf>